

2800人
請願署名

中学校卒業まで医療費無料化を



議長に2800名の署名
が提出されました＝24
日

6月定例市議会に、「子育て安心のまちを求める会」から2800名の署名が添えられた、「中学校卒業までの通院医療費の無料化を求める請願」が提出されています。

「小学校に行ったらとたんに、医療費が3割になり大変です」「病院に行った方がいいのだと思いますが、行けば医療費がかかるので、つい、控えてしまう」など、無料化を求める切実な声が広がっています。

市議会に出された請願は、6月定例市議会で審議されます。共産党市議団は請願の採択と無料化の実現へがんばります。

請願は6月15日の文教福祉常任委員会で審議されます

6月定例市議会は、5月31日から6月18日まで開催されます。日本共産党市議団（小菅六雄・野並享子・太田健一市議）は、市民のみなさんから寄せられました切実な願いの実現へ全力でがんばります。議案質疑と一般質問は6月10日と11日の両日です。ぜひ傍聴にお越しください。

一般質問で共産党市議団は、国保問題や中小企業への抜本支援策、新卒者や若者の雇用問題を始め、中学校卒業までの医療費無料化や地デジ対策など切実な願いの実現へ質問をします。みなさんのご意見・ご要望を下記の議員までお寄せください。



小菅六雄 市議

暮らしと命を守る国保制度を

3月議会では国保税が平均32%もの大幅な値上げがされました。「これではもう支払うことができない」と不安と怒りの声が広がっています。

本来、国保は法律に基づく社会保障制度です。これに反し、国が市町村国保への国負担分を大幅に削減。この削減が、そのまま国保税の値上げにつながっています。命と暮らしを守る国保制度を求めます。



野並享子 市議

市内中小企業の抜本支援策を

野洲市でも地域経済を支えているのが中小企業です。ところが深刻な不況の中、厳しさを余儀なくされています。

市が市内中小企業の実態を調査し、具体的な支援・振興策を進めることが求められています。地元で生産・加工・販売・流通の連携や「農商工」で仕事と雇用の創出など、抜本的な中小企業対策を求めます。



太田健一 市議

市として新卒者の就職・雇用施策を

市内でも新卒者や若者の就職や雇用が深刻で将来に展望を持っていないのは、大人の責任であり政治や行政の責任です。

野洲市でも行政が市内新卒者の実態調査や雇用を調査し、市として就職難や雇用問題を打開する独自の施策を講じるべきだと思います。市の姿勢を問います。

6月定例市議会日程

※ 会議は午前9時からです(18日のみ午後1時からです)傍聴にお越しください。

5月31日(月) 本会議(議案提案)	15日(火) 文教厚生常任委員会(議案審議)
6月10日(木) 本会議(議案質疑、一般質問)	16日(水) 環境経済常建設任委員会(議案審議)
11日(金) 本会議(一般質問)	18日(金) 本会議(議案討論、採決)
14日(月) 総務常任委員会(議案審議)	

「やす民報」創刊200号

2004年の合併以降、創刊200号を迎えました。引き続き、市民の皆さんとの双方向性を大事にして、暮らしを守る市政へがんばります。ご支援を心からお願い申し上げます。

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2010年5月31日 №200

暮らしのご相談・要望
お寄せください

小菅六雄 (電話・FAX) 589-4971 (メール) shgdy177@ybb.ne.jp
野並享子 (電話・FAX) 587-0985 (メール) no73kyo_ko@ybb.ne.jp
太田健一 (電話・FAX) 588-3169 (メール) kensan.world21@docomo.ne.jp

市議団ホームページをご覧ください
<http://www.yasusigi.net/>